

うきょう

2024 3.15
市民しんぶん右京区版

町内会(自治会)は住みよいまちづくりに貢献しています
右京区シンボルマーク
ご近所さんとご近助の関係へ

今こそ地震に備える ~私たちにできること~



七尾市和倉町 倒壊した建物



七尾市内 陥没した歩道



避難所の小学校体育館
令和6年1月15日の様子



給水車による給水

1月1日に発生した令和6年能登半島地震。京都市では、石川県七尾市での避難所の運営や物資の提供など、様々な支援を行っています。京都にも多くの活断層があります。いつ起こってもおかしくない大地震に対して、私たちが備えるべきことは何なのか、今一度考えましょう。

1月15日から5日間、七尾市和倉町に派遣され、避難所の運営に携わりました。地震でお亡くなりになった方や負傷された方の人的被害はもとより、広範囲で建物や道路の損傷などが発生していて、今回の地震の爪痕の大きさを目の当たりにしました。



被災された方々からは、「まず一番に断水でトイレに困った。簡易トイレなどの備蓄をしていれば…」などのお話をお聞きました。地震発生から3日間は支援の物資が届かないことがあるため、普段からご家庭でも水や食料を備蓄することが重要です。日頃は後回しになりがちな「災害への備え」ですが、このような被災地の状況と被災者の声を参考に、ご家庭や地域でも地震をはじめとした自然災害への備えをしていただきたいと思います。(地域力推進室 地域防災係長 服部 良成)

詳しくは2面へ

視覚に障害のある方を対象に点字版・文字拡大版・テープ版・CD(デージー)版も発行。【問合せ】広報担当(☎ 222-3094 FAX 213-0286)